

スターボード

【形状・構造及び原理等】

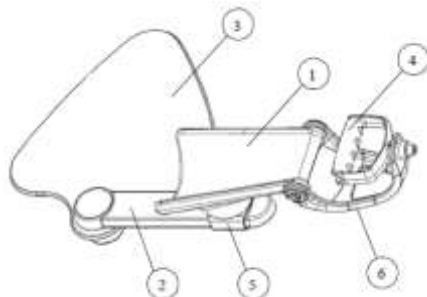
*1. 概要

本品は腕の固定が必要な手技において、患者の腕の保持および位置決めをするため、手術台に設置して使用される。本品はスターボードおよびスターサポート、またはスターボードおよびエクステンションから構成される。

スターボード、スターサポートおよびエクステンションは、それぞれ単品で輸入、販売される場合もある。

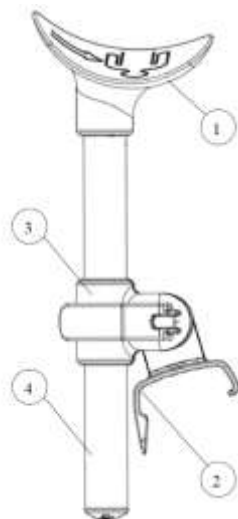
2. 形状・構造

(1) スターボード



番号	名称
1	アームレスト
2	アーム
3	ダガーボード
4	ハンドル
5	スライダー
6	リストピボット

(2) スターサポート



番号	名称
1	アームサポート
2	クリップ
3	クランプ
4	チューブ

*③エクステンション



【使用目的又は効果】

本品は、患者の腕の保持および位置決めのために使用される手術台アクセサリである。

【使用方法等】

1. スターボード単独で使用する場合

- (1) 患者の肩付近を少し浮かせ、ダガーボードを手術台とマットレスの間に差し込む。
- (2) 患者の腕をアームレストにのせ、腕の長さにアームレストの位置を調節する。
- (3) 垂直状態のハンドルを握らせ、患者の腕が楽に保持されるように可動部を調節する。
- (4) 患者の手の平が上向きになるように、ハンドルを回転させる。
- (5) 皮膚に消毒剤を塗り、患者にドレープを掛ける。
- (6) 手の平が上向きのまま、アームを少し回転させて腕を患者の体から離す。
- (7) リストピボットを下げ、手首を伸ばす。
- (8) 橈骨動脈の位置を確認し、局所麻酔薬を塗布する。
- (9) 橈骨動脈にアクセスし、血管シースを配置する。
- (10) 動脈アクセスが得られ、シースが配置されたら、伸ばした手首を戻す。
- (11) 手のひらが患者側に向き、親指が上を向くように、手首を内側に約 60°回転させる。これにより患者の手首が楽になる。
- (12) 前腕部が患者の横に配置されるようにアームを患者の方へ回転させる。

2. スターボードにスターサポートを組み合わせて使用する場合

- (1) スターボードを使用した左橈骨動脈アクセス後、スターボードのダガーボード付近でアーム部に、スターサポートを取り付ける。
- (2) スターサポートのレバーを緩め、傾き、長さを調節する。
- (3) 肘上方をアームサポートで保持する。
- (4) 左腕が適切に配置できたら、レバーを締め位置を固定する。

*3. スターボードにエクステンションを組み合わせて使用する場合

- (1) エクステンションをスターボードのリストピボット先端に取り付ける。
- (2) スターボードを使用した橈骨動脈アクセスにより患者に挿入された、ガイドワイヤ、イントロデューサシース等をエクステンションの平面で支持する。
- (3) エクステンションを支えるために、必要に応じてリストピボットとアームレストを接続するネジを調節する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

本品は熱により劣化する可能性があるため、滅菌しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管の条件

直射日光を避け、涼しく乾燥した場所で保管する。

***2. 耐用期間**

3 年（スターボードおよびスターサポート。製造元の自己認証による。）

【保守・点検に係る事項】

1. 洗浄

洗浄時の温度は 65℃を超えないこと。

本品は類似医療機器と同様の方法で洗浄すること。

本品への使用が認められた消毒剤の一例は以下のとおり。

- ・ 70%イソプロピルアルコール
- ・ 2%クロルヘキシジン／70%アルコール
- ・ 7.5%ポビドンヨード

2. 保守

可動部の締め付けを適切に保つために締め付けを調整すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 ディービーエックス株式会社
TEL : 03-5985-6826

製造業者 アデプトメディカル社
(Adept Medical Limited : ニュージーランド)